

比較家族史学会

会報 比較家族史 39

事務局 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-7 弘文堂気付  
郵便振替(会費) 00130-4-25222 (年報バックナンバー・その他) 00180-3-604964

比較家族史学会 第四二回研究大会

日時 二〇〇二年一〇月二六日(土)・二七日(日)  
場所 尾島町生涯学習センター(旧尾島町役場)  
群馬県尾島町亀岡63-1

TEL 0276-5212341(当日のみ)

(別紙会場案内図参照)

テーマ アジールと家族/生命技術と家族②

■一日目(一〇月二六日)午前九時三〇分

□会長挨拶 鎌田 浩(専修大学名誉教授)

共催者挨拶 相沢邦衛(尾島町町長)

▲小シンポジウム「生命技術と家族(パートII)」

・家永登・上杉富之・太田素子(司会)・専修大学助教授・

成城大学助教授・湘北短期大学教授・

森 謙二(茨城キリスト教大学教授)

「趣旨説明」 九時五〇分〜一〇時〇〇分

・塚本 学(元国立歴史民俗博物館教授)

「生命の維持と継承における“家族”の役割

——一七、八世紀日本を中心に」

一〇時〇〇分〜一〇時四〇分

・嶋津 格(千葉大学教授)

「治療と設計の間——家族論への挑戦」

一〇時四〇分〜一一時二〇分

・東海林邦彦(北海道大学大学院教授)

「人為的生殖技術と家族法秩序

——後者は前者の制御規範たりうるか?」

一一時二〇分〜一二時〇〇分

・シンポジウム 一二時〇〇分〜一二時四〇分

□絵会 一二時四〇分〜一三時〇〇分

□昼食 一三時〇〇分〜一三時五〇分

▲「アジールと家族」

——縁切寺満徳寺資料館10周年記念の共催——

・高木 侃(司会)・専修大学教授

「趣旨説明」 一三時五〇分〜一四時〇〇分

・高木 侃

「アジールの近世的変容としての縁切寺」

一四時〇〇分〜一四時四五分

・戒能民江(お茶の水女子大学教授)

「DVシエルトにおけるアジール性」

一四時四五分〜一五時三五分

(休 憩)

・阿部謹也(特別講演)・元一橋大学学長

「中世のアジールから現代のアジールへ」

一五時五〇分〜一七時〇〇分

□懇親会

会場 太田グランドホテル(会費六〇〇円)

■第二日(一〇月二七日)

エクスカーション

ホテル八時三〇分出発

見学先(予定) 世良田事件の地(近代)・長楽寺(中世)・

東照宮(近世)・東毛歴史資料館・縁切寺満徳寺資料館(近

世)・昼食・岩宿文化資料館(旧石器)・紫資料館(近代

の桐生織物) 東武伊勢崎線世良田駅經由・JR高崎線深

谷駅四時到着予定

## 研究大会趣旨説明

### (1) アジールと家族

今回は開館一〇周年を迎える縁切寺満徳寺資料館とその所在する尾島町と共催で研究大会を開催することになった。縁切寺との共催ということで、テーマは「アジールと家族」である。かつて縁切寺満徳寺に駆け込む女性が追っかけてきた夫に捕まりそうになったら、はいていた草履を門内に投げ、それが門内へ入りさえすれば、本人が駆け込んだものとして、かりに夫に捕まったとしても寺の救済を受けることになった。資料館のエントランスホールには、大き陶板に焼き付けられた「駆け込みの図」が掲げられている。

アジールといえば、古今東西あらゆる社会に存在したといわれるが、古くは旧約聖書に、「逃避邑(のがれのさと)」とあり、ヨルダン川の東西に各三ヶ所あって、過失殺人犯がここへ逃げ込み、そこに留まるかぎり、その生命は報復者から保護された。わが国では承久の乱(一二二一年)における敗残兵を、袖の中・袈裟の下に隠しても救済すると、命を賭した高山寺の明恵上人が想起されるが、法制上は戦国時代アジールが衰退し、制限・禁止される規定としてあらわれる。これが近世的変容をとげ、わずかに残ったのが縁切寺であった。

ところで、最近わが国でもアジールについて

の関心が否応なく、高まっている。それは五月九日に起きた中国・瀋陽の日本総領事館へ駆け込もうとした朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)の家族の駆け込み風景である。

結局、中国の武装警官に連行されてしまった翌日の日本経済新聞の「春秋」欄では、「いやしくも在外公館の不可侵権というなら、この程度(縁切寺への駆け込み救済のこと)は期待したいが。…事件を報じる写真には、警官に捕まる母親らしき女性をぼうぜんと見守る女の子の姿もあった。胸を突かれる光景である。この子も一応、敷地内には入っていた。往時の縁切り寺の役人なら、どう対応しただろう。」というものである。まさにアジールにおける家族の姿がそこにあった。その後の韓国や、ドイツの学校での対応と余りにも違いすぎる。ヨーロッパにおけるアジールの根源的問題を阿部氏に講演していただく。また従来からの問題であるDVは、防止法の施行にともなって、いわゆるシェルター(避難所)への関心や対応についても論議すべきことは多く、そこにも夫婦と子供・男女など家族が見え隠れする。その意味でアジールの問題はきわめて今日的課題であり、次回以降引き続き、アジールとしての家族、不登校などさまざまな問題を検討することとなる。

なお、自由課題を募集したにもかかわらず、日程の都合で、その機会が設けられなかった。応募いただいた方には、まことに申し訳なくお詫び申し上げます。次回沖繩大会のご報

告をお願い申し上げます。(高木 侃)

### (2) 「生命技術と家族 パートII」

人工授精、体外受精・胚移植、さらにはクローンといった生殖技術の臨床への応用は、親子関係や家族概念にどのような影響を与えているかを考える連続シンポジウムを企画している。前回の遠野大会では、文化人類学、法律学、歴史学の立場から総論的な報告を行ったが、ひきつづき今回は、第2回として、「生命」ないし「生命倫理」に焦点を当てて、歴史学、法哲学、民法学の立場から、これら生命技術への対応を考える。(家水 登)

大会運営委員 高木侃(委員長)、家水登、上杉富之、太田素子、戒能民江

### ■研究大会についての事務連絡

今回は大会事務局が大学ではなく、人口一万四千人余の尾島町にある縁切寺満徳寺資料館で、常勤職員も少なく、なにかと不便をおかけすることと存じますが、ご容赦ください。また、尾島町には宿泊施設が無く、太田市に宿をとることにになり、会場への移動のためにバスを手配しました。参加費が二〇〇〇円と若干高いのはこの送迎のためです。さらに、参加申し込み等も業者依頼いたしました。ご了承のほどお願い申し上げます。

### ■事務局からの連絡

#### 1 会費納入のお願い

今回は未納分のある方のみ振込み用紙を同封しております。なお、事務引継ぎ後、事務局ではアクセスを十分に使いこなせないため、住所レベルの右下の既納年度が更新してありません。

#### 2 『シリーズ比較家族』の購入について

前回もお願い申し上げましたが、現下の出版状況から販売方につき、特段のご協力をお願いいたします。直接早稲田大学出版部にご連絡ください。

連絡先 早稲田大学出版部

電話 03-3203-11551

FAX 03-3207-0406

#### 3 『比較家族史研究』バックナンバーについて

創刊号以外については若干の在庫があります。購入希望の方は、学会事務局へご連絡下さい。なお、既刊分(在庫分)の販売価格については、理事会に諮って値下げを検討いたしますので、ご注文は四二回大会後にお願ひします。

#### 4 『事典家族』の購入について

今回購入希望者向けの申し込み用紙を同封いたしました。弘文堂のほかの書籍も割引になります。会員以外でも同様に扱うそうですので、この機会にご利用ください。

#### 5 『二〇周年記念論集』について

大会に間に合うように出版社では鋭意努力中、ご期待ください。これのご購入についてもご協力お願い申し上げます。

#### ■理事会議事録

日時 二〇〇二年五月二四日(金)

場所 遠野市民センター

出席者数 三二名(委任状を含む)

#### 1 新理事會体制発足、理事役割分担の確認

事務局体制を強化するために、適宜事務局会議を開催し、当面する問題の処理に当たることを決めた。

#### 2 会計報告

会計担当者より、報告があり、了承される。

#### 3 韓国大会の報告

崔先生からの伝言として、報告集は別途検討することのこと。

#### 4 新入会員および退会の承認

新入会員四名(別項参照)と井上洋子・梅木茂両氏が退会を承認された。

#### 5 年報編集状況

横書きの件は総会にはかることのほか、担当者より示された原案承認。

#### 6 『シリーズ比較家族史』刊行の件

学会監修の責任体制を明確にすることを確認し、研究大会での報告・編集について、そのあり方を改善する提言あり、また編集委員の増員等は今後の問題とすること。現下の出版

状況のなかで、従来の印税を減額して欲しい旨の早大出版部からの申し入れを承認。また各巻の進捗状況の報告あり。

#### 7 大学評価委員会専門委員候補者の推薦

合計4名の候補者を推薦

#### 8 学術会議関連事項

学術会議の現状と問題点の報告、一九期の手続き、および科学研究費審査委員候補者の推薦

#### 9 次々回の大会の準備状況

二〇〇三年五月二四日・二五  
場所 沖繩大学  
テーマ (1) ジェンダーと沖繩

(2) アジュールと家族 を予定。

二六日は希望者が多ければ摩文仁の「平和の礎」や糸満の門中墓、あるいは読谷村の門中墓、あるいは「象の檻」の見学なども予定している。

#### 10 その他

#### ■総会議事録

日時 二〇〇二年五月二五日(土)

場所 遠野市民センター

#### 1 会計報告

会計担当者より、報告があり、了承される。

#### 2 新入会員および退会の承認

#### 3 次回の研究大会について

二〇〇二年一〇月に群馬県新田郡尾島町・縁切寺満徳寺資料館との共催で開催される。

多数の参加を要請。

4 『比較家族史研究』について

編集委員長より進捗状況、執筆要領の説明、横書きについては執筆者の要望にこたえることと了承される。

○ 島 直子

5 『シリーズ比較家族史』について

現在の状況が報告される。

○ 寺岡聖豪

6 学術会議関連事項について

学術会議の現状と問題点の報告、一九期の手続き、名簿作成等の報告

○ 増田武夫

○ 山口亮子

日本性教育協会

■新入会員

坪内良博 (甲南女子大学・地域研究マレーシア)、篠原 明 (Trinity International Univ. 大学院・父性研究)、吉長真子 (東京大学大学院・日本教育史)、高橋 彩 (いわき明星大学・女性史、医療社会史)

〈所属変更〉

浅井由美 神戸海星女子学院大学

井上治代 日本大学非常勤講師

岩上真珠 聖心女子大学

岡田浩樹 神戸大学国際文化学部

奥田都子 静岡県立大学短期大学部社会福祉学

科

上村正名 東洋大学文学部

島津良子 奈良女子大学非常勤講師

鈴木博人 中央大学法学部

高木 侃 専修大学法学部

政岡伸洋 四国学院大学社会学部

横山 勝

吉田世津子 四国学院大学社会学部 (前記)

〈連絡先変更・訂正〉

小玉亮子

横浜市立大学商学部

小山静子

田澤 薫 尚絅女学院短期大学

田中茂樹 大阪大学法学部を定年退官

矢野敬一

善積京子

林 明鮮

会員著作(単行本)―事務局に連絡のあったもの

後藤みち子『中世公家の家と女性』吉川弘文館、二〇〇二年、七〇〇〇円

吉川悟、村上雅彦、東豊編『家族はこんなふうに変わる―新日本家族十景』昭和堂、二〇〇二年、一五〇〇円

鈴木七美『癒しの歴史人類学―ハープと水のシンボリズムへ』世界思想社、二〇〇二年、一九〇〇円

■住所・所属等の変更  
〈住所変更〉  
荒井和美

飯沼賢司  
伊藤昌司

鎌田 浩

重久幸子

松本純子 文化庁